



季節は巡り夏。
被災地で力強く――

東日本大震災から5カ月。羅賀地区の県道脇に1本のヒマワリが力強く咲き誇っています。太陽に向かい凛と輝く黄色い花はぎつと、村の未来を明るく照らしてくれることでしょう。

復興へのご支援に
心から感謝します



津波を乗り越え再開したサツパ船アドベンチャーズの船長8人。久しぶりの航海を終え、自然と笑顔があふれる



3月11日、大津波発生 6隻のサツパ船を失う

NPO法人体験村・たのはたネットワーク(道合勇一理事長)が展開する体験型観光。その代表的なメニューの「サツパ船アドベンチャーズ」は、年間5千人以上が体験する人気のプログラムです。プログラムを支えるのは、8人の地元ベテラン漁師ガイドと8隻のサツパ船。年々順調に利用者も増え、今年もこれから観光シーズンを迎えるはずの3月11日――。

午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震。これにより発生した大津波は3時25分頃、村の沿岸部に襲いかかりました。漁港施設を破壊し、大切な命や財産を奪った津波で、村内の漁船約550隻のうち500隻以上も流出。大津波は、プログラムを支え

津波被害を乗り越え

サツパ船新たな航海へ

ていたサツパ船6隻も奪い去りました。

船長から再開を望む声 中古船を購入し再出発

震災から約1カ月。ガイドを務める船長からは「ちよつとでもやりたい」「お客さんが来ないからやらないのではなく、やらなければこないのではないか」という声が上がります。船長の声に押され、体験村はプログラムの再開を決意。つてをたどって中古船を購入し、観光客の受け入れ体制を整えてきました。

津波被害から約4カ月半後――。7月29日の朝、羅賀漁港に4隻のサツパ船が集まりました。集まったサツパ船は、何とか津波を免れた2隻と、青森県東通村の岩屋漁協の協力を得て購入した中古船2隻。その船には、船長8人の

似顔絵が描かれたオリジナルのぼり旗が掲げられています。「俺たちの海!!」と書かれたその旗は、潮風を受けて力強くなびき、新たな出港の時を待ちわびているようでした。

午前10時から羅賀漁港で行われた再開セレモニーで、上机荒治村長は「今日が田野畑村の観光復興への第1弾です」とあいさつ。中古船購入に尽力いただいた岩屋漁協の角本雄之組合長に感謝状が贈られました。

再開第1便には、埼玉県から訪れた観光客と関係者が4隻のサツパ船に乗り込み出港。羅賀漁港には、出港するサツパ船に「いつてらっしゃーい」と笑顔で手を振るスタッフの姿。津波被害を乗り越え、再開を迎えたサツパ船アドベンチャーズは、ヤマセに包まれ幻想的な海に船首を向けました。



確かな操船技術で岩や断崖の間近を縫うように走る

羅賀漁港を出港したサツパ船は、船長の確かな操船技術で次々と岩場をすり抜け、断崖に迫り約1時間、再出発の航海を終えました。埼玉県さいたま市から訪れた美濃島宏晴君(小5)は「自然がすごくきれいだけど、津波の被害もあってびっくりしました。とても楽しかったので学校みんなにも教えてあげたいです」と目を輝かせていました。

サツパ船アドベンチャーズや各種体験プログラムの問い合わせは、体験村・たのはたネットワーク(☎37-1211)まで。

明日への
確かな一歩
【4】



サツパ船アドベンチャーズ船長
山根 要一郎さん
やまね・よういちろう(61) = 羅賀 =

津波で自分の船も仲間の船も流され、このままサツパ船ができなくなるかもしれないと思っていました。何から初めていいかわからない、頭の中で整理できない状況でした。そんな中、皆さんからの支援のおかげで再開することができました。皆さんの気持ちがとてもうれしいです。お客さんを迎えることで、俺たち船長も勇気付けられます。この素晴らしい風景、そして津波被害もたくさんの人に見てほしいです。



NPO法人体験村・たのはたネットワーク
道合 勇一理事長
みちあい・ゆういち

津波で大きな被害を受け、今年の夏の運航は無理だと思っていました。そんな中、青森県東通村の岩屋漁協さんなどの支援のおかげで、思ったより早く再開することができました。皆さんに本当に感謝しています。翌日からは予想以上に予約、飛び入りのお客さんがあり順調に運航中です。全ての復旧にはまだまだ時間がかかると思いますが、サツパ船の再開を皮切りに、できることから少しずつ頑張っていきます。



久しぶりのガイドについ熱が入る。ハンドレスマイクで説明も聞きやすくなった



安全を願い海に祈る



岩屋漁協の協力を得て購入した中古船が村に届く



及川直道さんは力強く「はたちの誓い」



久しぶりの再会で笑顔。会話も弾む



大震災の犠牲者に黙とうをささげる



今日のこの感動を思い出の一枚に



吉塚恭次さんが新成人にエール



第50回田野畑村成人式 47人が大人への一歩踏み出す

成人の門出を祝い、式典に出席した26人で記念撮影

島越に移動して「はたちの船」への乗船。残念ながら今年は大震災で漁港が壊滅的な状態のため乗船することができませんでした。それでも新成人たちは、友人同士で写真を撮り合ったり、お互いの近況を報告し合ったりして、成人を喜んでいました。

例年であれば式典後は、島越に移動して「はたちの船」への乗船。残念ながら今年は大震災で漁港が壊滅的な状態のため乗船することができませんでした。それでも新成人たちは、友人同士で写真を撮り合ったり、お互いの近況を報告し合ったりして、成人を喜んでいました。

第50回村成人式は8月15日、アズビイホールで開催されました。式には新成人47人(男32人、女15人)のうち26人が出席。参列した村議会議員や教育委員などに見守られ、大人への第一歩を踏み出しました。

式典は午前9時30分の開会。受け付けを済ませた新成人たちは、久しぶりに会う友人を見つけると「久しぶりー」「元気があったかー」と声を掛け合っていました。菊池現太さん(沼袋)は「友達と会うのは中学校卒業以来。中には最初、変わりすぎていて誰だかわからない人もいましたが、元気な姿を見ることができてうれしいです」と再会を喜んでいました。

上机莞治村長は「大震災があり大変な時期の成人式村や日本の未来は皆さんの双肩にかかっています。これからの社会でさまざまな役割を担ってください。皆さんの奮起を期待します」と式辞。人生の先輩として酪農家の吉塚恭次さん(26)は「甲地」は自らの経験を紹

三上 美穂さん =和野=



和山 将さん =大芦=

藤島 静香さん =甲地=



新成人の決意
村へのメッセージ

山根 司さん =羅賀=



向井 まどかさん =机=

熊谷 研哉さん =島越=





私たちは 3月11日を忘れない
伝えたい 伝えなければならない

私の津波体験 ⑤

津波の怖さと支え合いの大切さ伝えていく

震災から5カ月が過ぎました。大きな被害を受けてしまいました。村内や全国からの支援のおかげで、今こうして生きていられると心から感謝しています。そして、みんなで励まし合い、助け合ったからこそ乗り越えられた、そう思っています。

地震があった時、私はホテル羅賀荘で勤務中。100人以上の団体客が昼食を済ませ帰った後でした。大きな揺れに「これはただ事じゃない、大津波が来る」と思いました。ホテル2階の窓から外を見ると、漁港にサップ船や体験村のスタッフの姿。きっとお客さんを待っていたんだと思います。窓を開け「津波が来るよー」「逃げてくださいー」と必死に叫びました。

ホテルにはまだ40人ほどお客さんがいました。階段で1階に降り、バスに乗車していただきアズビィに避難。従業員はホテルの5階に避難しました。多分20人くらいだったと思います。従業員みんなが怖くて不安だったんでしょう。泣き出す人もいました。「みんなで一つになって頑張ろう」と声を掛けたと思います。

5階の窓から見ていると、1回目の津波が来ました。羅賀荘の岸壁に上がった波は、サップ船を全て飲み込んで引いていきました。

2回目は渦を巻きながら迫ってきました。3階くらいまで波が直撃したと思います。駐車場のバスを持ち上げ、トイレや東屋を破壊。津波の風圧で5階のじゅうたんが舞い上がり、物が全て吹き飛びました。それで7階や10階に全員が避難。その後、潮が大きく引いた海を見ると、弁天崎の方まで波の一つも見えず、海底が全部ピンク色だったのを覚えています。3回目の波は「ダーン」という感じで打ち寄せ、そのしぶきは7階の窓を隠すほどでした。

その後、非常階段から全員で避難。道路はがれきで埋め尽くされ、住宅裏の土手を歩いたと思います。途中、津波にのまれ横たわっている男性2人のところに私は残りました。女性消防協力隊としてやれることをやりたかったからです。「助かった命、無駄にするな」と励まし、体をさすりました。

避難所では避難した人、ボランティアの人、全国の物資を送ってくれた人など、みんなでみんなを支え合ったのだと思います。

今こうして、私たちは生きています。津波の恐ろしさを次の世代に伝えていくこと、それが私たちの大切な使命です。そして、人と人が支え合っていくことの大切さも伝えていきましょう。必ず。



押し寄せた大津波の直撃を受けたホテル羅賀荘は、3階までが壊滅的な被害を受けた。周辺のトイレなどは跡形もなく流出



村女性消防協力隊 三浦 康子 隊長



寄り添ってー

明星大学の黒岩先生が
寒立荘で「心のケア」

3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた本村。計り知れない大きな悲しみに包まれ、心に受けた傷跡は簡単には消すことができません。そんな村の皆さんの力になろうと、明星大学で心理学科の教壇に立つ黒岩誠さんが村を訪れました。菅窪地区の寒立荘に1カ月間滞在し、皆さんからの相談を受け付けたり、仮設住宅などを巡回して毎週バラの花を届けてくれたりしています。そんな黒岩さんに「心のケア」について伺いました。

私が田野畑村を訪れるのは45年ぶりのこと。早稲田大学の学生時代、思惟の森の会に所属していたことがきっかけです。長野生まれ

東京育ちの私には、古里と呼べる場所がありません。45年ぶりに田野畑村に帰ってきて、自分にも古里があったと感じました。

人間誰もが心に矛盾(荷物)を抱えています。普段はそれがあまり大きくないため普通の生活ができます。しかし、今回の震災のように、あまりに大きすぎる出来事が起こると、心のほとんどを矛盾が占めてしまったり、はみ出してしまったりして、自分らしく振舞えなくなってしまうのです。この矛盾。8割ぐらいの人は時間が解決してくれます。私の仕事



仮設住宅などを訪問しバラの花をプレゼント



～田野畑村の皆さんへ～

周りで支える皆さんは、黙って隣に寄り添ってあげましょう。人がそばにいることは、とても大きな安心感になります。質問せず、踏み込まず、話を聞いてあげましょう。とにかく聞き役に徹することがとても大切です。

誰もが心にさまざまな矛盾(荷物)を抱えています。重い荷物は手をさしのべて一緒に持ってあげましょう。抱えきれない荷物は落として壊れてしまう前にもっとたくさんの人で持ってあげましょう。家族、友人、けんか友達でも大丈夫。誰もが誰かを支えてあげられます。

人と人との交流を断ち切らないこと。皆さんにできる一番身近で一番大切なことです。

明星大学人文科学部心理学科
黒岩 誠 教授
(明星大学総合健康センター長)

は、時間でも処理できない大きな矛盾を一緒に持ってあげること。一時期でも一緒に持つてあげること。ことで「ホッ」とできます。しかし、矛盾は無くなることはありません。解決するには、自分の心を大きくする必要があります。田野畑村の人は、非常に謙虚で我慢強いです。「自分の事は自分で」という人が多いと感じます。でも、我慢しすぎないでください。

「自分は大丈夫」と思っている人も、本当は大丈夫じゃない人がたくさんいます。これからは、引きこもりも心配です。少しでもエネルギーがある人は、お茶飲み隣の家を訪ねましょう。一日中誰とも会わないのは異常です。短い時間でも一緒にいることで、人はどれだけ救われるか。これからの、自分にできるさまざまな支援を続けていきます。

村消防団

新しい幹部に辞令交付

村消防団の新しい幹部が決まりました。(下記表のとおり)

新幹部への辞令交付式は8月1日、役場談話室で行われ、上机莞治村長から畠山保幸新団長に辞令交付。その後、畠山団長からそれぞれの幹部に辞令が交付されました。

上机村長は「新体制で村の治安維持に尽力いただきたい。規律ののちとった自覚ある消防団になることを期待します」とあいさつ。畠山団長は「まだまだ東日本大震災の影響が残る大変な時期の幹部入れ替え。より一層一丸となって消防団活動に取り組んでいきます」と意気込みを話しました。

■村消防団の幹部一覧(副分団長以上)

所属	職名	氏名
団本部	団長	畠山 保幸
	副団長	上村 繁幸
	副団長	三上 隆彰
	本部長	中嶋 恭一
	分団長	佐々木 茂
1分団	分団長	佐々木 拓夫
	副分団長	有谷 利彦
2分団	分団長	中村 和洋
	副分団長	鍛冶屋敷保美
3分団	分団長	工藤 茂益
	副分団長	秋田 秀昭
4分団	分団長	佐藤 一弘
	副分団長	小松山久男
		久志 敏形



上机村長から辞令を受ける畠山団長◎

熊谷大夢君は「初めは緊張したけど、その日の夜には友達ができ良かったです。重忠太鼓の演奏は、自分を取り組んでいる弥五兵衛太鼓の勉強になりました」と笑顔。工藤未悠さんは「初めてピザ作りをしました。その他にもいろいろな体験をして、これまでで一番の思い出ができました。またいつか、どこかで会いたいと思う交流会になりました」と楽しかった4日間を振り返ります。

児童たちは4日間の交流を通して友好を深め、忘れられない夏の思い出づくりをしました。

最初は緊張気味だった子どもたちも、さまざまな体験活動を通して徐々に打ち解け、会話が弾み笑顔があふれていました。

畠山重忠公園では、重忠公の墓や館跡などを見学。村と深谷市の交流の切っ掛けや歴史を振り返り、さらなる友好を誓い合いました。サングリーンパークでは、新しくできた友達と一緒に変形自転車やパターゴルフに挑戦。緑の中で友情を深めました。

友好都市・埼玉県深谷市と本村の小学生交流事業は8月2日から5日までの3泊4日の日程で行われました。この交流は平成10年から始まったもので、今年で14回目。隔年でそれぞれがお互いの市村を訪れて交流を深める事業で、今年も村の6年生23人が深谷市を訪れました。

深谷市からは5、6年生30人が参加。宿泊施設「もくせい館」で寝食を共にしながら重忠太鼓の体験、室内プールでの水泳、万華鏡作りやピザ作りなどで交流しました。

友好深めた小学生交流事業

埼玉県深谷市

ぼくらの暑い夏 フォトメモリー



パターゴルフに悪戦苦闘。「入れー!!」



重忠太鼓も教わった



深谷ネギについても学習。これから冬に向けておいしいネギに成長



お別れで深谷の子どもたちはバスが見えなくなるまで手を振ってくれた



変形自転車でサイクリング



「緑の王国」では万華鏡作りやピザ作りに挑戦



深谷市消防ではしご車に体験搭乗

本村と深谷市の交流のきっかけとなった畠山重忠公をまつた「畠山重忠公園」で記念撮影





体を張って守る玄君(右から2人目) 玄君のフリースローが逆転勝利呼ぶ

日韓交流バスケットで玄君が活躍

日韓青少年夏季スポーツ交流事業のミニバスケットボール競技は8月20日、盛岡市の県営体育館で開催されました。選抜チームに選ばれた田野畑小6年の畠山玄君=和野。先発出場を果たした玄君はコートを走り回り、体を張って相手の攻撃を防ぎます。しかし、試合は終始韓国チームのペース。ゴール下で体を張る玄君は試合終了間際、立て続けに相手ファウルを誘います。計5本のフリースローを決め、47-46で見事逆転勝利。玄君も大きな自信をつかみました。

ふるさと会が田野畑にエール

在京田野畑村ふるさと会(小原八郎会長、羅賀出身)は7月24日、東京都渋谷区にある村出身者が経営する「庵GuRi」で「田野畑村にエールを送る会」を開催しました。この会は毎年開催している総会に替えて開催したもの。集まった約50人で大震災犠牲者へ黙とうを行ったほか、津波映像や被災状況のビデオなどを鑑賞。津波の恐ろしさに、会員全員があぜんとした様子でした。当日集まった義援金は、村へ送金されました。「負けでたまっか!!がんばれたのはた」



村へエールを送ろうと集まったふるさと会のメンバー

園児たちが交通安全呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、交通安全母の会、老人クラブ連合会などの会員30人は、夏の交通安全県民運動期間中の8月2日、道の駅たのはた駐車場で交通安全キャンペーンを実施しました。南進する車1台1台のドライバーにチラシ、うちわ、牛乳などを配り、シートベルトの正しい着用やスピードの抑制を呼び掛け。若桐保育園の子どもたちはお母さんに手を引かれながら「安全運転お願いします」と元気良く手渡していました。



「安全運転お願いします」と畠山歩ちゃん(5)も交通安全を呼び掛け



初めて見る色鮮やかな「ねぶた」の大きさと美しさに大感動

田小5年生が青森で体験学習

田野畑小(早川幸男校長)の5年生33人は、8月2日から4日まで青森県藤崎町などでふるさと体験学習を行いました。例年は村内で実施している同学習。今年は「田野畑の子どもに元気を」と藤崎町が同校を招待。送迎、宿、体験など全てを運営してくれました。児童たちは地元小学生との交流の他、金魚ねぶたの色付け体験、田舎館村田んぼアートや弘前ねぶたを見学。普段経験できないことを体験した児童たちは、楽しい夏の思い出をたくさん作りました。



「今村竜也とウエタケユキオ」の熱い歌は夕暮れの公園に響き渡った

思惟大橋公園に熱い歌声響く

個人ボランティア活動家集団「ブルー・シート」(本部東京・角田四郎代表)が主催する音楽祭「ソング・オブ・ヘヴン」は7月29から31日までの3日間、道の駅たのはたで開かれました。今年で5回目を迎えた音楽祭には全国各地から約20組のミュージシャンなどが参加。村に熱い歌や演奏を響かせました。角田さんは「集まったのは純粋に音楽が好きな仲間たち。田野畑に音楽で少しでも元気をあげられたらという気持ちです」と演奏を見守っていました。

仮設団地に落語で笑い声響く

三遊亭歌之介落語会は8月3日、仮設住宅団地の集会所で開かれ、訪れた人たちが本物の落語を楽しみました。「笑いと元気をお届けします」とボランティアで村を訪れた歌之介師匠。高校団地と中学校団地の集会所にはそれぞれ約30人が来場しました。体験談や風刺などを盛り込んだ巧みな話芸に引き込まれ、会場は笑顔と笑い声でいっぱい。中には笑いすぎて涙を流しながら「久しぶりに思いっきり笑った」と話す人の姿も見られました。



会場は大きな笑い声と笑顔に包まれた

お知らせ

震災関係お知らせ

災害援護資金を貸し付けます

大震災で世帯主が負傷した世帯や住居、家財、自家用車に被害を受けた世帯に対し、生活の立て直しに必要な資金の貸し付けを行っています。

- ◆対象世帯…①震災日に村内に住居登録している、被災した世帯②村民税における世帯の総所得額が規定額未満の世帯
- ◆貸付限度額…被災の状況により150万円～350万円

- ◆金利
 - ・保証人有り…無利子
 - ・保証人無し…年1.5% (据置期間中は無利子)
- ◆償還期間…13年 (据置6年)
- ◆償還方法…年賦または半年賦
- ◆提出書類…借入申込書 (役場で配布)、保証人の源泉徴収票 (保証人有りの場合)、医師の診断書 (世帯主が負傷した場合)
- ◆申込期限…平成30年3月31日
- ◆申し込み・問い合わせ先…復興対策室 (☎34-2111 内線69)

福祉なんでも巡回相談を開催

大震災の被災者を対象に、巡回相談を開催します。福祉全般の相談ができますので、お気軽にお越しください。

- ◆期日…9月8日(木)
- ◆時間・場所…午前10時～正午・高校団地集会所、午後1時～3時・中学校団地集会所
- ◆相談料…無料
- ◆問い合わせ先…宮古保健福祉環境センター福祉課 (☎0193-64-2213)

復興支援アドバイザーを派遣

独立行政法人中小企業基盤整備機構 (中小機構) では、大震災で被災した中小企業などを対象に、復興に向けた事業などへ各種専門家を無料派遣しています。詳しい内容は政策推進課に問い合わせてください。

- ◆支援内容…事業再建計画の策定、転業・新事業展開の検討、設備などの復旧・補修相談、資金調達の相談など
- ◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)

**被災地への住宅建築
自粛をお願いします**

津波で被災した場所は危険です。被災地に住宅を建築しないよう協力をお願いします。

◆問い合わせ先…復興対策室 (☎34-2111 内線64)

中小企業振興資金の保証料補助

大震災で直接的に被害を受けた村内の中小企業者を支援するため、村中小企業振興資金の融資を受けた中小企業者に対して、その信用保証料の2分の1を補助します。保証料補助金の申し込みや資金内容については、気軽に問い合わせください。

- ◆補助率…中小企業者が支払った年間保証料の2分の1
- ◆補助回数…最大で5回 (5年)
- ◆申込期限…平成24年3月31日 ※同日までに村の融資決定を受けた中小企業者が対象
- ◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)、村商工会 (☎34-2304)

延長していた申告期限など決定

大震災以降、延長していた所得税などの申告と納付期限が決まりました。期限までに忘れず手続きをしてください。

- ◆申告期限…9月30日(金)
 - ①村民税 ②所得税
 - ③消費税 (地方消費税)
 - ④法人村 (県) 民税 1月決算～7月決算法人
- ◆納付期限…9月30日(金)①除く ※②、③の口座振替は10月31日(月)まで
- ◆問い合わせ先…税務課 (☎34-2112 内線31)

土地取引情報の提供を

大震災からの復興を円滑に進めるためには、土地の高値を見込んだ買い占めなど、不当な土地取引を防止することが必要です。不当な土地取引情報を持っている人は連絡をお願いします。

- ◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)

その他のお知らせ

自衛隊岩手駐屯地を公開

陸上自衛隊岩手駐屯地では、創立54周年を記念して一般公開をします。

- ◆日時…9月18日(日) 午前8時30分～午後3時 ※雨天決行
- ◆場所…陸上自衛隊岩手駐屯地
- ◆内容…記念式典、戦車や装甲車などの体験搭乗、音楽隊ミニコンサート、模擬売店など
- ◆問い合わせ先…陸上自衛隊岩手駐屯地指令業務室 (☎019-688-4311)

地デジ難視聴地区を訪問

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地上デジタル放送を受信できない地域に住んでいる人には、下記のような国の支援があります。難視聴地区に指定されている家庭には、国から委託を受けた業者が訪問して申請を受け付けますので、忘れずに申し込んでください。難視聴地区の確認は政策推進課に問い合わせてください。

- ◆暫定的な衛星放送利用
 - 暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送を視聴。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います (業者：地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター)
- ◆高性能アンテナ対策
 - 受信点の調査や高性能等受信アンテナ対策に要した経費の一部に対して助成します (業者：岩手県地上デジタル放送推進協議会)
- ◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)

人間ドックに助成金を交付

- ◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人。(全ての医療機関での受診が対象です)
- ◆助成額…課税状況により1万～2万円 (3年に1回の助成)
- ◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
- ◆開始日…8月1日(月)以降の受診分から
- ◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

自衛隊の学生を募集します

- ◆種目・受験資格
 - ①防衛大学校学生…21歳未満の男女
 - ②防衛医科大学校学生…21歳未満の男女
 - ③看護学生…24歳未満の男女
 - ※①～③いずれも高校卒業以上または卒業見込みの人
- ◆申込期限…9月30日(金)
- ◆試験日・場所
 - ①11月5日(土)～6日(日)・盛岡市、一関市、北上市、釜石市
 - ②10月29日(土)～30日(日)・盛岡市
 - ③10月22日(土)・宮古市
- ◆問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所 (☎0193-63-3881)

**夕暮れは 早めの
ライトに 反射材**

9月21日(水)～30日(金)
秋の全国交通安全運動

県立美術館キャラバンが来村

- 県立美術館では、小学生以下の子どもとその保護者を対象に、「アートデオヤコ『ユメノマチ』ができるまで」を開催します。色とりどりの積み木やビーズを組み合わせて建物などを作り、みんなで街を作ります。
- ◆開催日時…9月25日(日) 午前9時30分～11時30分
 - ◆開催場所…アズビオホール
 - ◆対象…小学生以下の子どもとその保護者、地域住民
 - ◆参加料…無料
 - ◆問い合わせ先…岩手県立美術館 (☎019-658-1715)

9月11日は「警察相談の日」

家庭内の暴力や子どもの非行、ストーカーなど、どこに相談してよいか分からずに悩んでいませんか？ 警察相談は、犯罪被害防止や迷惑行為など安全と平穏に関する相談に応じています。振り込み詐欺などの相談も受け付けています。

- ◆相談電話番号…「#9110」
- ◆問い合わせ先…田野畑駐在所 (☎33-3110)
- ◆フリーマーケット出店者募集
 - 宮古地区広域行政組合では、フリーマーケットの出店者を募集しています。

- ◆出店資格…宮古広域管内に住居を有する人
- ◆募集店舗…30店 (出店は無料) 売り場面積は2.5m×2.5m
- ◆開催日時…9月25日(日) 午前9時～正午 ※雨天中止
- ◆開催場所…みやこ広域リサイクルセンター内敷地
- ◆申込期限…9月21日(水)
- ◆申し込み・問い合わせ先…みやこ広域リサイクルセンター (☎0193-64-7111)

動物愛護フェスティバル開催

- ◆日時…9月23日(金) 午前9時30分～正午
- ◆場所…宮古地区合同庁舎駐車場 (宮古市五月町1-20)
- ◆内容…犬猫慰霊祭、犬のしつけデモンストラクション、ワンワン運動会、健康相談など
- ◆問い合わせ先…宮古保健福祉環境センター (☎0193-64-2218)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（9月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 7月29日に再開した体験型観光メニューは？
A) サップ船アドベンチャーズ
B) ネイチャートレッキング

Q2 8月15日に開催した成人式。村の今年の新成人は何人？
A) 47人
B) 52人

■前号（8月号）の正解
Q1→B、Q2→A、Q3→B
■当選者（敬称略）
牧原喜孝（大芦）、熊谷正初（猿山）、上山年和（北山）

おめでた おくやみ

[平成23年7月届け出分]
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん

熊谷 晟那（せな）くん
将志・弥生 羅 賀
熊谷 夏希（なつき）ちゃん
新吾・拓美 浜岩泉
深渡 昊佑（こうすけ）くん
年和・美智子 羅 賀
三浦 瑚白（こはく）ちゃん
太知・咲奈 島 越
工藤 朱夏（しゅか）ちゃん
隼・寿子 田野畑

♥ご結婚おめでとう

熊谷 亨 尾肝要
佐々木 梨那 島 越 ♥尾肝要
相模 裕也 田 代
佐々木明日香 矢巾町 ♥田 代

■ご冥福をお祈りいたします

三上 イマ（80）和 野
晴山 隆一（70）真木沢
畠山 キヨ（92）羅 賀
熊谷 了吉（81）大 芦

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出て下さい

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1646万7,449円 (8月22日現在)

325件 (村内82件、県内109件、県外134件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課（☎34-2111 内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：9月6日(火)～30日(金)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
9月6日(火)	わたしの主張下北地区大会	岩泉中学校	13:00～15:30	教育委員会
11日(日)	県知事・県議会議員選挙投票日	村内各投票所	7:00～18:00	選挙管理委員会(内線91・92)
12日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
17日(土)	復興支援・早稲田大学コンサート	アズビィホール	10:00～11:30	教育委員会
21日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
24日(土)	診療所休診			診療所
26日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
30日(金)	村県民税2期・国保税3期納期限 後期高齢者医療保険料3期・介護保険料4期納期限			税務課(内線31・32) 生活環境課(内線21・22)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：9月20日(火)～21日(水)

◆はまぎくコース（机・北山方面）

月日	場所	時間
9月20日(火)	北山地区総合センター	10:30～10:45
	拓心館	10:55～11:15

◆たんぼぼコース（真木沢・切牛方面）

月日	場所	時間
9月21日(水)	佐藤進氏宅付近	9:20～9:35
	望洋館	9:45～10:00

◆おきなくさコース（沼袋・甲地方面）

月日	場所	時間
9月21日(水)	産直プラザ尾肝要	10:30～10:45
	農村環境改善センター	10:55～11:10
	甲地公民館	11:20～11:35

はまなす 掲 示 板

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34-2226）



新種!? おもしろダイコン収穫

佐々木大樹さん(28)=菅窪=は8月9日、千丈地区の畑で変わった形のダイコンを収穫しました。人が足を組んでいるような不思議な形。大樹さんの母・町子さん(写真)は「これまでも変わった形のダイコンはありましたが、ここまで変わったものはありませんでした」と収穫作業の手を休めて話してくれました。

■田野畑村議会議員選挙結果（敬称略）

	候補者名	年齢	党派・現元新別	職業
当	中村 芳正	62	無・現	漁業
当	鈴木 隆昭	55	無・現	農林漁業
当	工藤 求	59	無・現	漁業
当	小松山 久男	54	無・現	建築業
当	中村 勝明	62	共・現	政党役員
当	菊地 大	41	無・新	運送業
当	上村 繁幸	61	無・現	漁業
当	佐々木 芳利	60	無・現	農業
当	佐々木 功夫	65	無・現	会社役員
当	宮森 鋭幸	70	無・元	無職

※掲載は立候補届出順
※無は無所属、共は共産党
※現は現職、元は元職、新は新人

東日本大震災の影響で延期していた田野畑村議会議員選挙は8月23日に告示。同日午前8時30分から立候補の届け出を受け付けました。定数10に対し、新人1人を含む10人が立候補。掲示板にはそれぞれの候補者のポスターが張られ、選挙カーでの街宣も始まりました。

その後、午後5時に届け出が締め切られ、立候補者10人の無投票当選が決まりました。同選挙が無投票なのは、記録が残る昭和40年以降は初めてのこと(40年以前は不明)。新たに決まった村民の代表10人。任期は8月28日から27年8月27日までです。

村民の代表10人が決定

村議会議員選挙



わが家の
アイドル



鍛形 昊輝くん（1歳4カ月）

父・秀樹さん、母・淳子さん=田野畑=

テンポのいい音楽に合わせて踊るのが大好き。元気はもちろんですが、常に周囲に笑いがあり、輪ができるような子に育ってほしいです。

お母さんからの
ひとこと



小松山 海晟くん（1歳4カ月）

父・博史さん、母・昌子さん=机=

ボール遊びが大好き。自分の思ったとおりにならないと、たたいてくる短気なところも…。元気で人に愛されるような人になってほしいですね。

100m第2位

14秒05



平坂 誠至君 (田野畑小5年)

7月24日に県営運動公園陸上競技場で開催された第27回全国小学校陸上競技交流大会岩手県大会。5年男子100メートルに出場した田野畑小の平坂誠至君が14秒05のタイムで第2位に輝きました。

集中するのは得意じゃないけど、決勝はスタートのタイミングもばっちり合いました。とても気持ち良く走れ、あつという間の100メートルでした。ゴールした瞬間は順位が分からなかったけど、2位だと分かった瞬間うれしさが込み上げてきました。

全国大会には出場できなかったけど、うれしい第2位。来年は記録をつくって優勝し、全国大会に出場したいです。そのためにも、9月15日に開催される下北陸上で13秒台の記録を狙います。

陸上にはいろいろな種目があるけど、短くて一瞬で勝負が決まる100メートルが好きです。これからも頑張って走りたいと思います。

この夏、陸上県大会で光り輝いた村の宝

砲丸投第3位

12m14



田野畑 就君 (田野畑中3年)

7月16日に県営運動公園陸上競技場で開催された第58回岩手県中学校総合体育大会陸上競技大会。男子砲丸投に出場した田野畑中の田野畑就君が12.14mの記録で第3位に輝きました。

大会前の自己ベストは10.97。大会の3週間くらい前にフォームを変えました。大会に間に合うか不安でしたが、校長先生から指導を受け、思った以上に好感触でした。大会は予選を3位で通過

過。そして決勝の1投目は、とてもスムーズに体が動いて会心の投てき。これまでの自己ベストを1.17m以上更新することができました。

優勝と準優勝は中1の時からライバル。勝つことができなかった悔しさ、自己ベストを大きく更新できたうれしさが入り交じったすごく複雑な心境でした。

東北大会は12.13mで第9位。8月末の下北陸上では、大会新記録を目指して頑張ります。

編集ごぼれ話

田野畑村観光復興の第1弾。7月29日、サッパ船アドベンチャーズが待望の再開をしました。これまで何度も乗船させていたいただきましたが、この日は本当に思い出に残る航海になりました。晴天とはいきませんが、ヤマセに包まれ神秘的な船旅。船長の皆さんのいきいきとした表情。津波にも負けなかった大自然の力強さ。感動、感動、感動の連続でした。全国から予約も入り始めているようです。皆さんもぜひ乗船してみてください。▼8月15日の成人式。久しぶりの再会を喜び、話しが盛り上がる新成人たち。取材しようと思っていると、みんなが嫌な顔一つせずに快く協力してくれました。村内で頑張る人、村を離れて県外で頑張る人。それぞれが自分の夢や目標に向かって一生懸命です。そんな姿は、きっと村を元気づけてくれるはず。皆さん、成人おめでとう！▼私も何事にも一生懸命に取り組みなければ。よし、これからは気合入れて頑張るぞ！

(政策推進課 佐々木和也)